

1 題材名 オットット！楽しいゆらゆらワールド

2 題材の目標

- 揺れる仕組みをつくり、揺らしてみたいものをつくることに意欲的に取り組もうとする。
(造形への関心・意欲・態度)
- 材料や用具，友人との交流を基に，新たな発想をしたり，表したいことの構想を練ったりすることができる。
(発想や構想の能力)
- 材料や用具，イメージしたことなどを基に，試したり選んだりしながら作品をつくることのできる。
(創造的な技能)
- つくるもののアイデアやつくり方の工夫を確かめ，作品についての見方を深めることができる。
(鑑賞の能力)

3 題材について

(1) 題材観

本題材は，台上で支持点（足）を支えにして揺れる仕組み（やじろべえ，バランストイなどと呼ばれるもの）を基にイメージを広げ，思い付いたものを，材料や形などを工夫しておもちゃをつくる活動である。児童にとって揺れる様子や揺れを生む仕組みの構造などからイメージを広げ，つくりたいものやつくり方を選んだりしてつくることは，自らのイメージを基に，思考・判断し，表現する力を身に付けるのに適した題材であると考えられる。

(2) 児童観

本学級の児童の多くは，授業中に友人とかかわりながら自分のイメージをもったり，困ったことを解決したりしながら製作を進めている。しかし，児童の学習の様子や作品を見ると，自分のイメージを基にして，様々な材料や用具などにかかわり，形や色，材料などに働きかけながら工夫して表現したり，友人との交流を基に新たな発想を得て，製作活動に積極的に生かしたりしている児童は少ない。そのため，最初にもったイメージが十分に広がらないまま，作品を完成してしまう児童が多く見られる。

(3) 指導観

本題材では，まず，活動の場に材料コーナーを設置して，いろいろな材料に触れたり，組合せなどを試したりすることができるような時間を設定する。このことで，児童は，形や色，材料などに進んで働きかけ，工夫しながら活動することができるように考える。

また，活動時間内に，互いの作品について見合ったり話し合ったりする鑑賞活動の時間を段階的に設定する。互いの作品についてのイメージを交流させることは，自分の思いを確認したり，友人から見た新たな視点や考えに気付くきっかけをつくることになり，児童は自分のイメージを基に，思考・判断しながら，工夫して表すことができるように考える。

さらに，鑑賞における言語活動を充実させる視点から，表現の過程で気付いたことや考えたことを記入できる学習カードを作成し，活用するようにする。このことで，児童は自分のイメージや表現の工夫点を確認することができ，自らの学びを実感しながら，友人との話し合いを深めることができるように考える。

4 指導計画（6時間扱い）（時の○は本時）

次	時	学習活動・内容	関・意	発・構	技能	鑑賞
1	1	<ul style="list-style-type: none"> 揺れる仕組みを動かして、気が付いたことを発表し合う。 材料や用具を選んで動く仕組みをつくり、いろいろな動かしかたを試してみる。 自分のアイデアを学習カードに描き、友人とイメージの交流をする。 	○	○		
	2	<ul style="list-style-type: none"> 材料や用具、友人との交流を基に構想を練り、つくる。 		○		
2	3	<ul style="list-style-type: none"> 揺れる仕組みや材料からのイメージを基に、思い浮かんだものを工夫してつくる。 		○	○	
	4	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞活動で友人とイメージの交流を行い、さらに工夫しながらつくる。 			○	○
3	6	<ul style="list-style-type: none"> 発表会で互いの作品を鑑賞し、つくり方の工夫や作品の見方を深め合う。 				○

〔共通事項〕 の視点から	<ul style="list-style-type: none"> 形や色，材料や用具に触れ，自分の気持ちや考えに気付いたり確かめたりしながら，つくりたいもののイメージをもつ。
-----------------	--

5 本時の学習

(1) 目標

材料や用具，友人との交流からのイメージなどを基に，試したり選んだりしながら工夫してつくることができる。

(2) 準備・資料

教師…針金，紙粘土，ラジオペンチ，洗濯ばさみ，各種紙類，木切れ，ビニルテープ，木工用ボンド，グルーガン，カッターナイフ等

児童…集めた材料，はさみ，のり，定規等

(3) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	<ul style="list-style-type: none"> 指導 ○個への対応 ◎評価 ◇言語活動の充実の視点から
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 交流したことをもとに，さらに工夫してつくる。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 学習カードを見て前時の活動を振り返り，これからの製作の見通しがもてるようにする。 </div>
<p>2 4，5人のグループになり，作品を見合ったり，よさや工夫点などについて話し合ったりする。</p> <p>--- 【鑑賞タイム】 ---</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 5px;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">交 流</div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 5px;">この材料の形（色）がいいな。</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 5px;">おもしろい表現方法だな。</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 5px;">そんな考え方もあるのか。</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 5px;">自分の工夫が認められてうれしい。</div> </div> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ◇自分の作品や友人の作品について，よさや工夫点などについて，形や色，発想などの視点で，理由を説明しながら具体的に話すように助言する。 </div>

イメージ
の広がり

もっと手を加えてみよう。

自分もこの材料を使ってみよう。

自分もこの表現を取り入れてみよう。

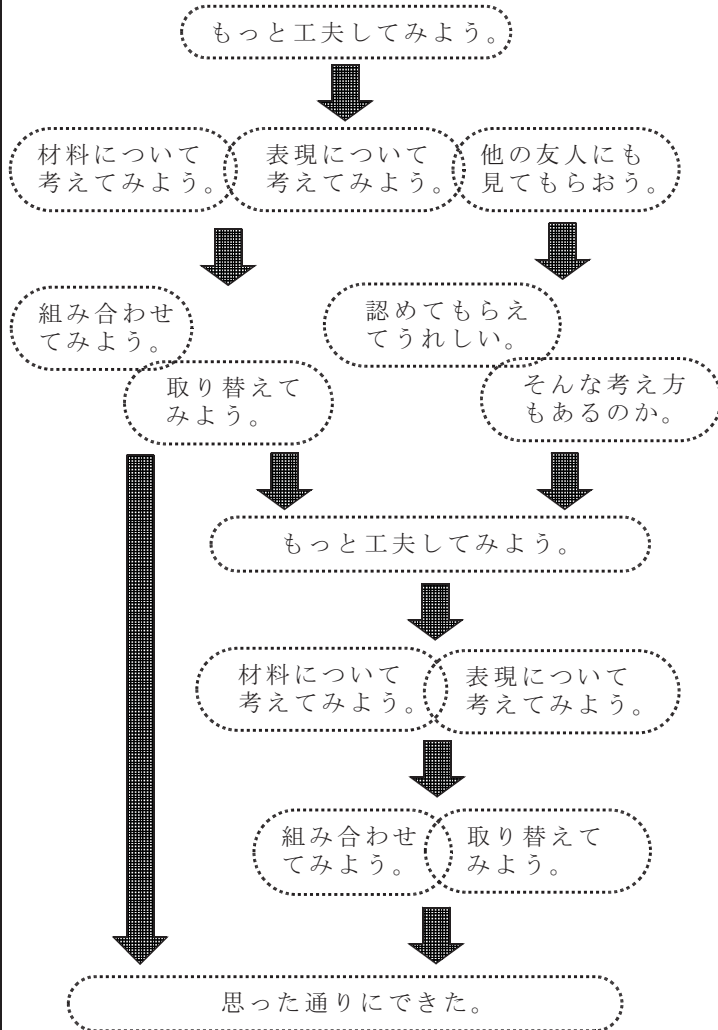
もう一度考え直してみよう。

◎【鑑賞の能力】

つくるもののアイデアやつくり方の工夫を確かめ、作品についての見方を深めている。

(観察、カード、作品)

3 交流したことを基にイメージをふくらませ、思考・判断しながら工夫して表す。



・机間指導をしながら児童の製作の様子を把握し、イメージの広がりや表現の工夫について称賛して、自信をもって活動できるようにする。

・製作中にも、友人と作品を見合ったり、話し合ったりするなどの、積極的な交流を促す。

○イメージを広げた上で、新しくつくり直したり、別の揺れ方や動き方にも変わることも認めるようにする。

○イメージ通りにつくることができない児童には、その原因を明らかにして、技法上の助言や指導を行うようにする。

◎【創造的な技能】

材料や用具、友人との交流からのイメージなどを基に、試したり選んだりしながら工夫してつくっている。

(観察、カード、作品)

4 活動の振り返りや工夫点を学習カードに記入してまとめ、後片付けをする。

・製作活動を振り返り、自分のイメージの広がりや工夫した点について理解し、自らの学びとしてとらえられるように支援する。